※令和４年度以降入学生用

学校番号	3015

令和４年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	言語文化　（数研出版）						
副教材等	マスター古典１（京都書房）、漢文基本ノートβ（浜島書店） LOOK＠古文単語３３７（京都書房）、新明説総合古典文法（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では、有名な文学作品や古典に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身につけてください。
・さまざまな文章に触れることで、教材を通して自身のものの見方や考え方を広げるとともに、自分の考えを言葉にして表すための力を伸ばしてください。
・古文・漢文の本文は、必ず音読しましょう。
・予習として必ず本文をノートに写し、意味調べをしておきましょう。授業の後には内容を振り返って復習し、文法知識や古文単語は自分なりに整理し、少しずつ覚えていきましょう。
・提出物の期限は必ず守りましょう。また、定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・的確に文章の内容や構成を理解するとともに、登場人物の心情を読み取ることができる。
・読解力を養い、作品を通してものの見方、考え方を深め、人間性の形成に役立てる。
・古典文法や古文単語の基礎を勉強し、簡単な古文の内容がおおまかに読み取れるようになる。
・訓読や句法の基礎を勉強し、簡単な漢文の内容がおおまかに読み取れるようになる。
・古文単語や文法の小テストの勉強をし、基礎的な知識の定着をはかる。
・言語・文化に対する関心を深め、言葉を尊重して、自己に向き合う態度を養成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ［教材］ 西加奈子「サラバ！」	a：文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合いなどの様々な活動に参加しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	近代日本文学への入門的な短編を通して、内容や展開を的確に捉えることを学ぶ。 ［教材］ 芥川龍之介「羅生門」	a：老婆に対する比喩表現など、特色ある表現の意味と効果を理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にするなどの様々な活動に参加しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	歴史的仮名遣いの読み方や文語のきまりを理解し、古文に親しむ。 ［教材］ 今昔物語集 「羅城門の上層に登り死人を見たる盗人の語」	a：『羅生門』と読み比べて、時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 b[書]：「書くこと」において、『羅生門』と『今昔物語集』の主題や作中人物の描かれ方の相違について、自身の考えが効果的に伝わるよう、文章の種類や構成、展開などを工夫している。 c：『羅生門』と『今昔物語集』とを読み比べて、その相違について考察し、まとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	歴史的仮名遣いの読み方や文語のきまりを理解し、古文に親しむ。 ［教材］ 宇治拾遺物語「絵仏師良秀」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：「読むこと」において、説話という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		c:進んで説話のおもしろさを味わい、学習課題に沿って話し合いなどの様々な活動に参加しようとしている。			
	随筆の内容を理解して、自然や人との関わりに対する作者の感情や思想を読み取る。 ［教材］ 徒然草 「ある人、弓射ることを習ふに」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：「読むこと」において、「弓射ることを習ふ」ことと「道を学する」ことを対応させて理解し、作者の考えを的確に捉えている。 c：進んで『徒然草』に表れた作者のものの見方、感じ方を捉えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	物語に表れた心情を読み取る。 ［教材］ 伊勢物語「芥川」	a：重要古語の意味や、和歌の修辞技法を理解している。 b[読]：「読むこと」において、「男」の心理の推移の描写を丁寧にたどり、内容を正確に読み取っている。 c：進んで昔の人の恋のあり方について理解し、歌物語に親しみ、和歌の修辞法などについて理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	随筆の内容を理解して、自然や人との関わりに対する作者の感情や思想を読み取る。 ［教材］ 枕草子 「雪のいと高う降りたるを」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：『枕草子』と『白氏文集』の主題の違いや作者の人物像について考えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	漢文を読むための、きまりを理解する。 ［教材］ 入門一 ・ 二	a：漢文特有の構造や訓読のルールについて理解している。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：日常使う漢語、格言、成句の意味を漢和辞典で調べ、その由来を調べようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	故事成語の由来や意味と、現代の言葉とのつながりを理解する。	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 故事「漁夫之利」	b[読]:「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:進んで故事成語の意味と由来を漢和辞典で調べ、故事成語への理解を深めようとしている。			ノート 振り返りシート
	我が国に大きな影響を与えた『論語』を読み、そこに現れている孔子のものの見方・考え方を理解する。 ［教材］ 論語	a:我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[書]:「書くこと」において、自分の解釈や考えが効果的に伝わるよう、文章の構成や展開を工夫し、表現している。 c:進んで『論語』を読み、そこに現れている孔子のものの見方・考え方を理解し、自己のものの見方・考え方を豊かにしようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	軍記物語の文体の特徴について理解する。 ［教材］ 平家物語「祇園精舎」	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:進んで音読する、平曲を聞くなどを通して『平家物語』特有の表現を味わい、軍記物語の文体の特徴について理解し、学習課題に沿って、それぞれの場面での登場人物の心情を深く読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　５　）時間

・読むこと　…　（　６５　）時間